



ボランティア団体 はなゆうかい みついし花遊会の皆さん

三石市街地の国道235号線沿いの歩道に設置された花壇に季節の花の植栽や周辺の清掃活動を行うなど、きれいな町を目指して環境美化に取り組み、道行く人の目を楽しませてくれています。

■活動を始めたきっかけ

平成18年に三石市街地の国道拡幅事業が完了して街並みが整備された際に、国道を管理している北海道開発局から歩道に設けた花壇の管理などを依頼されたことがきっかけです。地域でお花が好きな方々が集まり「この町の沿道をいつまでもきれいにしていきたい」との思いから「みついし花遊会」を立ち上げ、依頼を受けることにしました。

市街地の国道約1km区間の両側に設けられた歩道には、23か所の花壇が点在しており、そこにお花を植えてきれいなまちづくりに努めています。

活動当初は、さまざまな品種のお花を試しましたが、生育の違いや病気により枯れてしまうなど試行錯誤を重ね、数年かけて現在の品種に至りました。

■日高信用金庫三石支店との活動

現在は会員8人で活動していますが、国道沿いの日高信用金庫三石支店の職員の皆さんも以前から積極的に清掃活動などに取り組みされており、この町をきれいにしていきたいという共通の思いから意気投合し、3年前から信金職員の皆さんと合同で活動しています。これにより活動時間が短縮され、とても助かっています。これからも信金職員の皆さんとともに活動を続けていきたいです。



日高信用金庫三石支店
よしひろ
 支店長 伊藤 寛広さん

当店の職員も地域貢献事業の一環としてお手伝いさせていただいています。みついし花遊会の皆さんは花がとても好きな方が多く、知識も豊富で、花の色合いによってきれいに見せる並べ方の工夫などを教えていただき、いつも感心するばかりです。

地域の美化活動として今後も一緒に活動を続けていきたいです。

■主な活動内容

春と夏の年2回、地元の方が育てた苗を使って季節のお花を植えています。

春は入学式前に黄色のビオラ約320株を植え、しゅっこんそう宿根草のギボウシや街路樹のイタヤカエデの緑色とともに鮮やかな色彩しきさいとなるように工夫しています。

夏は蓬莱山まつり前の6月下旬ころ、春に植えたビオラから約230株のペゴニアへ植え替えし、歩道に赤色やピンク色が加わることで、いろど彩りが豊かに見えるようにしています。

そのほか、秋には夏に植えたペゴニアの撤去とともに来春に向けた土づくり作業などを行っています。植栽以外にも追肥や除草、街路樹の剪定などの管理のほか、周辺の清掃活動なども年数回行っていきます。活動していると道を通る方から「とてもきれいですね。毎年楽しみにしています」と声を掛けられることもあり、とても励みになります。この活動を通して地域の方との交流の機会にもなっています。



■今後の活動について

国道を利用する多くの方がお花を見て癒しと安らぎを感じ、いつまでもきれいな町でいられるよう少しでも長く活動を続けるため、三石地区の他の団体などにも声を掛け、活動の輪を広げていきたいです。